

「故郷は変わったのか」－最終弁論②－

「変わった」側の最終弁論

司会 では、続けて変わった側の最終弁論に始めてください。時間は3分です。

それでは、私たち、変わった側の最終弁論を述べさせていただきます。私たちは、はっきり言って、故郷は変わったと言っています。

まず、私たちは精神的に変わった、実際に変わった、歴史的に変わったというように3つの論点を挙げています。しかし、変わらないチームは2つしか挙げていません。そのうちの一つ、実際に変わったというのが、私たちとは違って抜けています。

まず、精神的に変わったというのは、立論でも述べたように「わたし」自身のほかに、故郷の人々の心が変わった、実際に変わったというのはルントウが変わった、昔、尊敬していたルントウがなくなったなどというのがあります。

歴史的なものでは、帰郷するときには賠償金などを支払って苦しかったから貧しい気持ちで帰郷して、そのときにはもう故郷は貧しかったというのがあります。それから、もし故郷が変わっていなかったと言えるなら、故郷を離れるとき名残惜しい気はしないと思うでしょう。

もし、故郷が変わらないのならば、故郷が好きなままに行けます。それなのに、名残惜しい気がしないというのは故郷が変わってしまったからではないでしょうか。

その他にも、122ページの12行目と10行目を見てください。「そこでは、まるでこんなふうではなかった。」や「その調子を言葉に表そうとすると、しかし、その影はかき消され、言葉はうしなわれてしまう。」などとあります。ということは、故郷は変わったということになると思います。

そのようなことから、私たちは精神的、実際に変わった、歴史的の3つの根拠を挙げることができます。そのようなことすべてを考えた皆さんの判断にお任せします。

これで、変わった側の最終弁論にさせていただきます。

司会 ありがとうございます。時間は2分39秒でした。それでは、判定表に記入してください。討論に参加したチームもそれぞれ記入してください。